

【神奈川県】「2008年

に発生したリーマン・ショックの直後は、1カ月に100人もの面接をしていたのに、昨年以降は募集をかけても応募がさっぱり無い」。海外引越事業を展開しているジャパンムーブ（神奈川県横須賀市）の田頭千恵社長は、「人手不足が最大の悩み」と嘆く。

インターネットと紙媒体を併用して募集活動を行っているが、「たとえ応募があっても60歳を超えた人が大半」。あるタクシードライバーは「人を乗せるのが怖くなった」と志望動機を述べ、「そんな人に仕事を

人手不足最大の悩み

ジャパンムーブ社長

田頭 千恵さん



任せるのは、逆にこちらが怖い」と断ったという。正せば引越料金の不当な安さに「引越はともて泥臭い仕事。汗水を垂らす労働は今や、はやらないのだと実感する」。引越業界の社会的ステータスの低さも元凶の一つに挙げるが、「元を可欠。女性も現場で積極的に活用していきたい」。更に、優秀な人材を呼び込む施策の一環で、

「女性を積極的に活用したい」と田頭社長

英語研修、10月メド開始

従来の梱包研修に加えて英語研修も10月をメドにスタートさせる計画だ。社長に就任してから1年余り。課題が次々と押し寄せ、「じっくり戦略を練る



余裕がない」とこぼすが、将来ビジョンは明快。元請けの立場を確立すると併せて、ドア・ツー・ドアのサービス提供を目指す。

(沢田顕嗣)